

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染管理

【外来における感染防止について（抜粋）】

○COVID-19の疑いに関わらず、原則として行うべき事項

- ・外来患者の待合室では、発熱や呼吸器症状を訴える患者同士またはその他の患者が一定の距離を保てるよう配慮する。
- ・呼吸器症状を呈する患者にはサージカルマスクを着用させる。
- ・医療従事者は標準予防策（※）を遵守する。

**※①呼吸器症状のある患者の診察時はサージカルマスク着用及び手指衛生を遵守、
②マスクや手袋等の着脱時には、環境汚染に留意し、所定の場所に破棄するとともに、手指衛生を遵守（手指衛生の前に目や顔を触らない）**

- ・医療従事者は、発熱や呼吸器症状を呈した場合には診療行為を行わずに休職する。

○医療機関におけるCOVID-19の疑いがある人やCOVID-19患者の診療時の感染予防

COVID-19 患者（確定例）、疑似症患者、濃厚接触者のうち何らかの症状を有する者を診察する場合

- I 標準予防策に加え、接触、飛沫予防策を行う。
- II 診察室および入院病床は個室が望ましい。
- III 診察室および入院病床は十分換気する。
- IV 患者の気道吸引、気管内挿管、検体採取などエアロゾル発生手技を実施する際にはN95マスク（またはDS2など、それに準ずるマスク）、眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）、長袖ガウン、手袋を装着する。
- V 患者の移動は医学的に必要な目的に限定する
なお、職員（受付、案内係、警備員など）も標準予防策を遵守する。

○環境整備

- ・環境中における新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の残存期間は現時点では不明である。
- ・他のコロナウイルスに関しては、20度程度の室温におけるプラスチック上で、SARS-CoVでは6～9日、MERS-CoVでは48時間以上とする研究がある。
- ・インフルエンザウイルスA（H1N1）pdm09の残存期間は数時間程度であり、SARS-CoV、MERS-CoVはインフルエンザウイルスに比較して残存期間が長い。
- ・SARS-CoV-2についてもインフルエンザウイルスに比較して環境中に長く残存する可能性があり、医療機関や高齢者施設、不特定多数が利用する施設内、濃厚接触者の自宅においては、アルコール清拭による高頻度接触面や物品等の消毒の励行が望ましい。